



学校教育目標 広い視野と豊かな心を持った、健康でたくましい生徒の育成

東中だより

圓 困 目 標

- ・健康でたくましい生徒
- ・人の心の痛みが分かり、思いやりのある生徒
- ・進んで学び、感動できる生徒
- ・規律を守り、責任を果たす生徒
- ・厳しさに耐え、自ら努力する生徒

令和5年度 学校経営方針

年度はじめのご挨拶 と

東桂中学校が目指す生徒像 について

都留市立東桂中学校
校長 三枝 幸一

保護者及び地域の皆様、私は、この度東桂中学校に校長として着任いたしました三枝幸一(さいくさ こういち)と申します。教師として本校に勤務するのは本年度がはじめてとなりますが、私も本校の卒業生であり、着任以来、自分の中学時代を懐かしく思い出しながら勤務しております。

本来の専門分野は英語教育です。これまで富士吉田地区、道志村、山梨県教育委員会富士・東部教育事務所(指導主事)、都留市においては都留一中、都留二中に勤務してまいりました。これよりは、東桂中学校の保護者や地域の皆様のご指導をいただきながら、生徒たちの幸せな人生のため、本校の教育の向上に努力してまいりたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

現在までの本校の生徒を見ていてまず思うことは、一言で言うと、とても素晴らしい生徒たちということです。入学式、新任式、始業式、新入生歓迎会、学級役員認証式といった行事がすでに行われましたが、リーダーが自覚して必要な動きをしっかり行い、個々の生徒が協力して行動し、お互いが嫌な思いをすることのない、集



団として、とてもきまりよい行事となりました。一人ひとりの生徒の、活動に向かう姿勢や態度が本当に素晴らしいものでした。また、毎日の朝読書の様子で

は、すべての学級が同じレベルの集中力で読書に取り組むことができ、全校として心穏やかに一日をスタートできる態勢となっております。その他の活動や生活でも同様で、これからが大変楽しい生徒たちであるという印象です。このように素晴らしい生徒たちは、もっとよい生徒に成長させてあげたいとの思いを抱かせてくれます。

ただ、中学生というのは個々に見れば状況は様々で、それぞれの成長課題や発達課題を抱えていると思われまます。一人ひとりの成長に応じた支援や指導を心がけ、教育活動を展開してまいりたいと思います。



そこで、年度はじめということで、今回は本校が目指す生徒像についてお知らせしたいと思います。

まず、基本的な大目標としては、以下のとおりです。

基本目標

「広い視野と豊かな心を持った、健康でたくましい生徒の育成」

これからの時代は、現在の私たち大人もすでに実感しているように、先の見えない、変化の激しい、予測困難な時代です。そのような時代を生き抜いていくのに重要なことは、「広い視野」で自分の人生を創っていくことであり、その基盤として、人間としての「豊かな心」を持ち合わせていることです。これらのさらに基盤として、「心身の健康」や「たくましさ」が重要であると考えました。このような意

味で、上記の目標が、本校が育成したいと考える基本的大目標としての生徒像となります。

この基本的大目標は、その方向に向かって進むという「方向性」と「到達点」を示した「道標」としての役割を果たします。この方向に向かうために、より具体的な小目標（具体目標）を掲げています。それが次のようなものです。日常の教育活動では、基本目標である大目標を遠くの道標としつつ、この小目標（具体目標）を達成できるように努力します。

具体目標

- 健康でたくましい生徒の育成
- 人の心の痛みが分かり、思いやりのある
生徒の育成
- 進んで学び、感動できる生徒の育成
- 規律を守り、責任を果たす生徒の育成
- 厳しさに耐え、自ら努力する生徒の育成

そして、教職員はこれまで述べた目標を意識しながら教育活動を行います。実際の授業や行事、部活動などで生徒たちに努力させることは、以下の事柄になります。

「あたり前を大切にし、恩を感じ取り、
未来社会に向かって、気づき、考え、
実行できるようにすること」

「あたり前を大切にし」とは、学校生活のあたり前とはどういうことか、人としてあたり前のこととは何なのか、ということを常に考えさせるということです。

「恩を感じ取り」とは、『今、自分がこうして生活したり生きていたりすることのできる原「因」を考えることのできる「心」の働きを大切にすること』ということです。「恩」とは、原因の「因」の文字と「心」の文字で成り立っています。時代が変わっても変わらない、大切にしたい人間の根本精神のことです。教育界ではそのことを「不易」と呼んでいます。

「未来社会に向かって」とは、「激しく変化する時代

を生き抜く力を養うこと」と「自らの可能性を引き出し、高め、幸せな人生を送ることのできる力を養うこと」、そして「一人ひとりが幸せな人生を送ることのできる世の中・社会を創ることのできる力を養うこと＝社会の役に立つ人になること」の意味を含みます。

最後の、「気づき、考え、実行する」ということは、学

校や世の中に存在するいろいろな問題に気づいて、そのことを解決するために考え、自分なりの答えを見つけ、自分の人生や社会のために必要なことを実行していく」という意味です。例えば、最近では毎日のように見聞きする戦争のニュースがありますが、その問題を遠くの出来事ではなく、自分の身近な生活や人生などと関連づけ



て考え、その問題をどんなふうに分かっているか、自分の人生に生かしていくことができるかと自分事として捉え、考え、必要だと思うことを実行していくことのできる力のことで

以上が、本年度の東桂中学校が考える育成したい生徒像です。基本的には、前年度からの継続性を重視しておりますが、本年度もより一層「教育の質」を高めてまいりますと考えています。教職員の毎日の教育実践によって、目指す生徒像に近づいていけるように努力してまいります。

今後、至らないところもあるかもしれませんが、反省すべきは反省し、改善すべきは改善し、保護者や地域の皆様と手を携え、価値ある自分の人生を生きる東桂の子供たちを育てていきたいと思っております。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本校の目指す生徒像や学校経営方針については、本校ホームページで、より詳細な資料を掲載しておりますので、ご覧ください（ホームページは、順次更新しております。学校の教育活動を少しでも知っていただけますよう、お時間のあるときにご覧ください。）。
